■男女参画委員会　第１期～第１１期(*)までの活動紹介［期ごとの活動内容詳細］

(*)第１１期より期のカウントを2年１期の活動に合わせて変更

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第１期 | 1 | 2003年<br>2月19日 | ◉男女参画委員会の主旨 | 顔合わせと現状把握のための意見交換会。 |
| | 2 | 5月23日 | ◉工場見学（ヤマハピアノ工場）<br>◉男女雇用機会均等法について<br>静岡県労働局雇用均等室長<br>花田禮子　氏 | 男女がともに働く場という視点から見た職場の実態と課題に関する検討。<br>雇用均等室より講師を招き、法律についての学習会を開催した。 |
| | 3 | 7月18日 | ◉広報ツールの勉強会（教宣学習会）<br>JAM静岡　河野副書記長<br>◉第１期の総括 | 何をどう伝えるか？男女参画委員会をもっと知ってもらうために。単組への報告の方法。<br>第１期の振り返りとまとめ。 |
| 第２期 | 1 | 2003年<br>12月12日 | ◉第2期活動方針の確認<br>◉国会見学 | 顔合せと委員会目標確認＆意識あわせ。<br>若林ひでき議員の国政報告。 |
| | 2 | 2004年<br>2月18日 | ◉春闘要求項目勉強会<br>◉次世代育成支援対策推進法の学習会<br>静岡県労働局雇用均等室長<br>花田禮子　氏 | 電機連合ダイジェストから…次世代法関連。<br>雇用均等室から講師を招き、次世代育成支援対策推進法についての学習会を開催した。 |
| | 3 | 4月23日 | ◉年金制度に関する勉強会<br>静岡県労働金庫　小関氏 | 年金制度改革について…現行制度との比較。年金における男女等差別の現状把握と年金問題と男女平等参画社会のつながりを考えた。 |
| | 4 | 6月21日 | ◉第2期の総括<br>◉議員の方々との懇話会 | 今まで学習してきた制度等について議員の方々の率直な意見や感想を伺い、2期のまとめを実施。 |
| 第３期 | 1 | 2004年<br>12月14日 | ◉第3期活動方針の確認<br>◉プロジェクトＸビデオ視聴<br>◉吉川氏　講演会（意識改革） | これまでの経緯報告含め、意識の共有化を図る。<br>男女雇用機会均等法の歴史を知る。<br>向上心を鍛え、自らが意識改革をする必要性を説く講演会を依頼。 |
| | 2 | 2005年<br>3月4日 | ◉静岡県男女共同参画室／子育て支援室／商工労働部各担当より県の取組などを紹介<br>◉アンケート（次世代法行動計画策定状況調査と保育園学童保育所のニーズ調査）の結果をもとにしたグループ討議。 | 行政（静岡県）の取組について知る。また次世代法状況調査やニーズ調査結果をもとに検討会。<br>次回の全体会議で自分たちに一番身近な行政として市議会議員との懇談会を計画しているのでその前段としての意見交換を実施。<br> |
| | 3 | 4月20日 | ◉市議会議員との懇談会<br>（県の取り組みと保育園等ニーズ調査を受けて）<br>◉保険の見直し（全労済） | 組織内議員（市議）との懇談会。<br>保育料金等の割高感から、家計の見直しをお手伝いする意味で保険料の見直しを提起。 |
| | 4 | 6月29日 | ◉事前学習会<br>◉資生堂掛川工場見学と意見交換会 | 他産別ではあるが、男女平等という視点において先進的と言われる資生堂の状況説明と意見交換会を実施。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第4期 | 1 | 2005年<br>12月7日 | ◉第1期～第3期までの活動紹介<br>◉今期の活動方針、計画<br>◉講演「これからの活き方、働き方」<br>立命館大学非常勤講師　井田氏 | 活動紹介、今期方針および活動計画説明<br>WLBの必要性が問われている中、ジェンダーフリーに対するものの考え方を学んだ。 |
| | 2 | 2006年<br>8月8日 | ◉FDK工場見学<br>◉三役による職場訪問報告<br>（FDK労組／東芝キヤリア労組）<br>◉事例報告<br>FDK労組<br>「ランチタイムミーティング」の紹介<br>東芝キヤリア労組<br>「NEC アクセステクニカ労組との交流会」<br>◉今期活動について／来期方針説明<br>◉グループ別情報交換／今期の反省 | 職場訪問で知り得た活動報告の中から参考となりうる活動内容を報告していただくことで、各単組の活動のヒントとして活かしていただく。<br>参加者からは身近な事例を知ることができたと好評。<br>グループ単位で今期の感想・反省点を提起していただき、次期活動に活かしていく。 |
| 5期 | 1 | 2006年<br>11月16日 | ◉これまでの活動と今後の活動説明<br>◉ビデオ鑑賞<br>◉グループ討議①<br>（ビデオ鑑賞のまとめ／情報交換）<br>◉グループ討議②<br>（ジェンダーチェック／題材を選択して）<br>◉発表 | 活動紹介、今期方針および活動計画説明。<br> |
| | 2 | 2007年<br>1月18日 | ◉ワーク・ライフ・バランスチェック<br>◉時間管理チェック<br>◉ビデオ鑑賞（手帳活用術）<br>◉グループ討議<br>◉労使会議講演会に同席聴講<br>『激変時代のワーク/ライフ・バランス』<br>～働き方の変革と<br>この付加価値向上に向けて～<br>ワーク／ライフ・コンサルタント<br>パク・ジョアン・スックチャ氏 | チェックシートを利用し個々にWLBチェック／時間管理チェックを行い、バランス具合などを確認。<br>WLB／時間管理を行うため身近にあるもの＝「手帳を活用してみよう」<br>ビデオ鑑賞を通じて、自分自身の時間管理術について考えてみる。<br>WLBとは何か？説明、その背景と今後を知り、取り組むことのメリットなどを学んだ。<br>労使会議の場で会社や組合のトップの方々と同じ内容の講演を聴くことで、意識の共有化を図ることができた。 |
| | 3 | 5月29日 | ◉改正男女雇用機会均等法の改正ポイント／主な留意点説明／電機連合の今後の取り組み・考え方説明／育児体験・両立体験談<br>（電）総合労働政策部門<br>労協・法規政策部<br>中央執行委員　斉藤千秋氏 | 電機本部の中執をお招きし、電機連合の男女平等政策や取り組み、ご自身の体験をふまえ、これからの世代へのエールをいただいた。 |
| | 4 | 9月6日 | ◉グループ討議①<br>（情報交換／活動紹介）<br>◉静岡県の男女共同参画の取り組みについての説明<br>◉今期の総括 | （当初、静岡県男女共同参画局が快哉を予定していたセミナーを聴講する予定が、天災により中止になったため、急遽の対応）<br>静岡県がすすめる男女共同参画施策や、県の状況などについてデータを基に、子育て支援室や商工労働部の担当者から説明をうかがった。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 6期 | 1 | 2007年<br>11月29日 | ◉男女参画委員会とは<br>（これまでの活動と今後の活動）<br>◉アイスブレイキング<br>◉グループ討議<br>◉基調講演<br>「仕事と生活の調和」は企業にとってプラスになる～「仕事と生活の調和」先進的取り組み事例紹介<br>◉事例紹介　㈱資生堂<br>◉質疑応答 | 活動紹介、今期方針および活動計画説明<br><br>外部のシンポジウム（労働局主催）に参加<br> |
| | 2 | 2008年<br>4月15日 | ◉車内レクリェーション<br>◉情報交換<br>◉ビデオ鑑賞<br>◉憲政記念館見学<br>◉財政金融委員会傍聴<br>◉国会議事堂見学<br>◉WLB憲章・行政指針説明<br>内閣府政策統括官付<br>少子・高齢化対策担当<br>仕事と生活の調和推進室<br>参事官　本多則惠　氏<br>◉質疑応答 | <br> <br>WLB憲章・行政指針の策定に携わった担当者より、策定までの経緯や内容について紹介いただいた。<br>質疑応答では、男女共同参画・少子化対策・WLBについて、それぞれの方針や期待する相乗効果などについての質問があがった。 |
| | 3 | 6月19日 | ◉静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体への申請説明<br>◉（電）総研　研究成果講演<br>21世紀生活ビジョンに関する研究<br>－電機連合のWLBの現状と取り組み－<br>（電）総研　事務局長　川口健一氏<br>◉（電）本部の来期の活動説明<br>◉グループワーク<br>（ロジカルシンキングツール“フィッシュボーン”を使って）<br>◉グループワーク報告<br>◉今期の総括 | 静岡県が男女共同参画社会づくり宣言について、委員会として登録することを説明<br>電機総研の「21世紀生活ビジョンに関する研究」をもとに、電機連合のWLBの現状と取り組みについて説明をうかがう。<br><br>ロジカルシンキングのツールを使って、「WLB実現のためには？」をグループで考え、発表をした。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第7期 | 1 | 2008年<br>11月13日 | ◉男女参画委員会とは…<br>◉グループワーク<br>◉外部ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑへ<br>o 磐田化学工業株式会社の取組<br>o 講演『企業でﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽを進めるためには』<br>株式会社ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗｽ<br>取締役代表　小室淑恵　氏 | 活動紹介、今期方針および活動計画説明<br>外部のシンポジウム（労働局主催）に参加<br>“時の人”でもある小室氏の講演は、メンバーに大きな気づきを与えた。 |
| | 2 | 2009年<br>4月22日 | ◉地協版データベース作成について<br>◉ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ事例紹介<br>東芝ﾃｯｸ伊豆<br>日本AEﾊﾟﾜｰｼｽﾃﾑｽﾞ沼津<br>◉グループワーク<br>◉学習会『次世代育成支援対策推進法／男性の育児休職について』<br>静岡労働局雇用均等室<br>◉県庁／県議会本会議場／110番センター静岡の見学 | 地協版データベースについて、イメージなどを説明<br>事例紹介では、有休取得促進などについての取り組みが紹介され、参加者からは概ね好評だった。<br>雇用均等室より講師を招き、次世代法の現状や改正育休法を前に、男性の育児休職取得について課題や対策を学んだ。<br>社会科見学として、県の組織を訪問。県知事選を前に、県議会議場を見せていただいた。 |
| | 3 | 7月30日 | ◉グループワーク①<br>地協版ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ調査に対する意見交換<br>◉ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽの DVD 鑑賞<br>◉基本方針確認・来期の活動方針（案)説明<br>◉グループワーク②<br>男女参画委員会への提言 | WLB（日本経済新聞社）のDVDは、身近な例をドラマ仕立てで紹介しており、参加者からわかりやすいと好評を得る。<br>今期の活動をふまえ、来期の活動につながるような提言をグループワークで考えていただいた。 |
| 第8期 | 1 | 2009年<br>11月9日 | ◉オリエンテーション<br>◉アイスブレイキング<br>◉静岡地協版データベース調査の説明（これまでの調査内容と経緯説明）<br>◉仕事と生活の両立支援に関する制度についての事例紹介<br>富士通労組沼津支部<br>ヤマハ労組<br>◉グループワーク[その1]<br>（事例紹介について／それぞれの制度について情報交換・意見交換）<br>◉グループワーク[その2]<br>（「国会議員との交流会」に向けて）<br>◉『国会議員との交流会』<br>加藤としゆき議員、藤本ゆうじ議員、小山のぶひろ議員 | 活動紹介、今期方針および活動計画説明<br>事例紹介では、育児休職制度などについての制度が紹介され、参加者からは概ね好評だった。<br>国会議員との交流会を前に、「質問したいこと」をグループで考えていただいた。<br>単なる国政報告会にとどまらず、ゲームや少人数での対話会形式を取り入れ、参加者と議員とのコミュニケーションを図ることができた。政治への関心を高めることができた。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第8期 | 2 | 2010年<br>4月21日 | ◉車内レクリェーション<br>（国会・防衛省等関連クイズ） | 車中を活用し、これから見学する国会、防衛省に関するクイズを出題。見学前の予備知識としての意識付け。また東名 SA でのお土産ランキングなどもクイズ形式で紹介し、行程を楽しめるように工夫した。（ご当地銘菓（景品）も準備） |
| | | | ◉車内ビデオ鑑賞 | WLB に関するビデオ（NHK 目指せ！会社の星を上映） |
| | | | ◉靖国神社参拝 | バスの時間調整だったものの、境内まで散策。 |
| | | | ◉防衛省および市ヶ谷記念館見学<br>榛葉防衛副大臣と面会（副大臣室） | 榛葉副大臣を訪問。副大臣室にて国会情勢等を伺う。（榛葉副大臣と記念撮影）<br>防衛省内および市ヶ谷記念館見学。厚生棟18Fスカイレストランにて昼食。 |
| | | | ◉国会議事堂見学 | 参議院議事場を見学。加藤としゆき参議院議員ご挨拶。 |
| | | | | |
| | 3 | 2010年<br>7月30日 | ◉ヤマハ掛川工場見学 | グランドピアノの生産工程を見学。社員食堂にて昼食。 |
| | | | ◉経過報告、活動ふり返り | 2年間の活動をスライドショーでふり返りながら、ふり返りシートを記入。 |
| | | | ◉グループワーク、発表 | ふり返りシートを基に、「もしあなたが委員会三役だったら・・？」というテーマで、グループごとに年間活動計画を作ってもらった。<br>個人のふり返りシートやグループで作成した計画表を活用し、来期の委員会活動にメンバーの声を反映させていく。 |
| | | | | |
| | | | | |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第9期 | 1 | 2010年<br>11月16日 | ◉オリエンテーション | 地協代表者挨拶／委員会委員長挨拶、三役紹介／委員会メンバー紹介 |
| | | | ◉男女参画委員会とは… | 活動紹介、今期方針および活動計画説明 |
| | | | ◉アイスブレイキング | |
| | | | ◉一人作業① | WLB　○×クイズ |
| | | | ◉WLBの実現と働き方改革<br>～WLB5ヵ年プログラムと<br>取り組みの進捗について～<br>電機連合　労協・法規政策部<br>中央執行委員　冨高裕子氏 | 電機連合が現在進めているWLB5ヵ年プログラムについて考え方とその進捗状況などについてご説明 |
| | | | ◉WLBのDVD鑑賞 | WLB（日本経済新聞社）のDVDは、身近な例をドラマ仕立てで紹介しており、参加者からわかりやすいと好評を得る。 |
| | | | ◉一人作業② | 作業①の答え合わせと『参加前と現在の認識・意識の変化』について |
| | | | ◉グループワーク | 情報交換／作業②についてグループにて報告／自分が個人としてWLB推進にあたって何が出来るのか、何をしていけば良いのかの洗い出し |
| | | | ◉発表 | |
| | | | ◉一人作業③・・・感想記載 | |
| | | | | |
| | 2 | 2011年<br>5月19日 | ◉チームビルディング<br> | 仲間で思いを一つにし、1つのゴール（目標）に向かって進んでいける組織作り。個人個人の特徴を活かしながら組織の中で機能させていく。 |
| | | | ◉三役より活動報告 | 地協男女平等担当者会議の報告 |
| | | | ◉WLBのDVD［Ⅰ］ダイジェスト鑑賞 | WLBとは何か…振り返り |
| | | | ◉グループワーク<br> | チームビルディングで学んだ事をグループワークの中で活用し、成果を感じ取る。<br>DVD の登場人物について、それぞれのケースを検証し、その後、自分の立場で「あるべき姿」を考え、グループ単位でまとめる。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第9期 | 3 | 2011年<br>8月8日 | ◉オリエンテーション<br>◉WLBについて振り返り<br>◉WLB実現のためのマネジメント<br>（DVD［Ⅱ］）視聴<br>◉作業①<br>＜人生を振り返ってみよう＞<br>＜燃えた時・燃えなかった時＞<br>◉作業②<br>＜あなたの仕事の価値観チェック＞<br>◉グループワーク［1］<br>講義（1）<br>［内的キャリア・外的キャリア］<br>［個人と組織のかかわり］<br>◉作業③<br>＜ライフキャリアタイムチャート＞<br>＜5ヵ年プログラム＞<br>◉講義（2）<br>［主役・傍役の考え方］<br>［ジョ. ハリの窓］<br>◉グループワーク［2］ | WLBとキャリアデザインの考え方を抱合した1日単位のセミナー<br> <br> <br>今期の総括・まとめ |
| 第10期 | 1 | 2011年<br>10月14日 | ◉オリエンテーション<br>◉委員会紹介・これまでの活動紹介・今期の活動<br>◉アイスブレイキング<br>◉グループワーク［講演に向けて］<br> <br>◉労使会議　外部講師の講演聴講<br>『「みんな」ワーク・ライフ・バランス<br>～一人ひとりそれぞれ違った<br>ワーク・ライフ・バランス～』<br>経営・人材コンサルタント<br>中村喜一郎氏<br>◉グループワーク<br>◉発表・コメント | グループメンバー間の共通点を挙げてみる。<br>共通点を基にグループ名をつける<br>グループ川柳作り　お題［WLB／男女参画／この1年間の活動の意気込みetc］<br>WLBについて「なぜ企業、組合はWLBを推進しなければならないのか」「その為にどのような取り組みをしているのか」「なぜ取り組みが進まないのか」「どんな課題があるのか」など、個人、企業、組合の現状と課題・問題点を出し合い、グループ内で共有。<br>経営戦略としてのWLB<br> <br> <br>講演を聴講して前半のGWで出された現状、課題、問題点に対して何かヒントや答えがあったか、またWLBの取り組みについて今後、各自が取り組んでいくべきことは何か、組織に期待する取り組みについてまとめ、発表。 |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第10期 | 2 | 2012年<br>2月3日 | ◉車内交流（ゲーム） | 隣同士に座ったメンバー間のコミュニケーションを図ると共にトリビアを深めるクイズ（国会／電機連合／民主党／SAなど） |
| | | | ◉電機連合　政策制度研修会<br>電機連合　岡本書記次長<br> | 電機連合第98回中央委員会議案書 P98～100 をもとに、電機連合がどのように政策制度課題に取り組んでいるのか（姿勢、目的、流れ、これまでの成果）について説明。また具体的な政策の中身や実現までの流れについて説明いただいた。 |
| | | | ◉国政報告会<br>参議院議員　加藤敏幸<br> | 現在、話題になっており関心の高い「赤字国債」「TPP」「エネルギー問題」などについて分かりやすく説明いただき、民主党としてどのように取り組んでいくのかを報告いただいた。 |
| | | | ◉国会議事堂見学<br> | |
| | | | ◉ダイバーシティDVD鑑賞 | 『活かそう！職場のダイバーシティ　一人ひとりがいきいきと働くために』 2009年　24分<br>『それぞれの立場　それぞれのきもち　職場のダイバーシティと人権』 2011年　28分 |
| | 3 | 2012年<br>6月1日 | ◉グループワークⅠ［2年間（第9期～第10期）の活動の振り返り］ | これまでの活動を通じて、自分の意識・認識がどのように変わったのか委員会に参加する前後のビフォーアフターについて、委員会の良さについて、委員会で得た事柄を周囲に伝えていく手法をグループ内で力とアイデアを出し合い作成。 |
| | | | ◉滋賀地協男女共生委員会の組織紹介、活動紹介 | 尾﨑事務局長より報告 |
| | | | ◉グループワークⅠの発表 | 模造紙、A4用紙、寸劇etc… |
| | | | ◉グループワークⅡ<br> | 滋賀・静岡合同のグループワーク。それぞれの活動報告や発表を経て、それぞれ気になったこと、各地協委員会に取り入れたいこと、お互いのエッセンス＋αをいただくつもりで、それぞれ情報交換。活動の新しい発見の場とした。 |
| | | | ◉パネルディスカッション | ワーク・ライフ・バランス実現についてディスカッション |

| | | | 内　　容 | 詳　　細 |
|---|---|---|---|---|
| 第11期 | 1 | 2012年<br>12月4日 | ◉オリエンテーション<br>◉三役紹介／メンバー紹介<br>◉組織・活動紹介／活動内容・方針<br>◉アイスブレイキング<br> <br>◉〇×クイズ<br>◉WLBのDVD［Ⅰ］鑑賞<br>◉〇×クイズの答え合せ・解説<br>◉ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ意識調査<br>［充実度］<br>◉グループワーク①<br>◉電機連合の「男女平等参画社会の実現」にむけた取り組み<br>電機連合　労協・法規政策部<br>中央執行委員　　半沢美幸氏<br>◉グループワーク②<br>◉講評<br>◉感想記載 | 自己紹介／ニックネーム／「実は…」披露<br>「ブレーンストーミング」<br>ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ理解度ﾁｪｯｸ<br>DVD、〇×クイズ、意識調査の感想・意識などをグループメンバー間で共有<br>電機連合としてのWLBの考え方や地協の役割など<br>グループワーク①で共有した考え方などを踏まえ、本部の講演を聴いた後、今後の委員会活動に対する意気込みや自身が出来る事 |
| | 2 | 2013年<br>5月22日 | ◉車内交流（ゲーム）<br>◉報告事項／主旨説明<br>◉国政報告会<br>参議院議員　加藤敏幸<br>◉石上としお候補との交流会<br> <br>◉国会議事堂見学 | 隣同士に座ったメンバー間のコミュニケーションを図ると共にトリビアを深めるクイズ（国会／電機連合／加藤参議院議員／石上候補など）<br>第1回委員会以降に開催され、三役が出席した会議について<br>政策制度の課題への電機連合の取り組みとWLB実現に向けて<br>7月の参議院選挙に立候補予定の石上としお氏を若い世代の皆さんにもっと知ってもらおう。<br>・自己紹介<br>・人となりを知ろう！〇×クイズ<br>・政策について |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 3 | 2013年<br>8月7日 | ◉オリエンテーション<br><br>◉アイスブレイキング<br> <br><br>◉ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽの復習<br> <br><br>◉ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽのDVD［Ⅱ］聴講<br><br>◉ワールド･カフェ手法によるワーク<br> <br><br>◉グループワーク／発表<br><br>◉報告事項<br><br>◉感想記載 | 自己紹介／他己紹介／傾聴ロール<br>緊張をほぐしながら、お互いが信頼関係を築くための話し方、聴き方、(姿勢、表情、態度･アイコンタクト)がいかに大切かをアイスブレーキングとして実施。<br><br>前回が国会見学、また今年度最後の委員会という活動期の中間地点ということで、活動の振り返り、記憶の呼び覚まし、復習として、第１回目で学んだﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽとは？について実施。<br><br>ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽの取れていなかった状態から、いかにして組織がまとまり、1 人ひとりがﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽを実現していったか、DVDにて学んだ。<br><br>“カフェ”でのオープンで自由な会話を通して活き活きとした意見の交換、新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法を使っての話し合いの場。またこの手法で得られる要素として『他花受粉』がある。これは、テーブルで出たアイデアが他のテーブルへと拡がり、交わり、そこからまた新たな発想が生み出されるというもの。<br><br>ワールド･カフェのワークを終え、最初のメンバー(委員会のグループ)で、それぞれ行った先のテーブルでどんな意見や発想が出たのか情報交換し、その後にそれらを基に『ﾜｰｸ･ﾗｲﾌ･ﾊﾞﾗﾝｽ実現のために自分達に出来る事(個人単位)、組織で出来ることは何か？』を議論し、発表。<br><br>県の男女共同参画宣言について |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 第11期 | 4 | 2013年<br>11月14日 | ◉オリエンテーション<br><br>◉チームビルディング<br> <br>◉三役より活動報告<br><br>◉個人作業<br><br>◉グループワーク<br> | 本日の内容説明とタイムスケジュールなど<br><br>個人で考え・作業する事、周囲の仲間との関わり方、チームとは何なのか？チームで活動展開する上での各自の立ち位置や行動など野外にてゲームを通して体を動かしながら文字通り“体験”しながら学びました。<br><br>地協男女平等担当者会議の内容と報告<br><br>チームビルディングの中で各個人がどのようにかかわったか？その結果どのような成果に繋がったか？を振り返ってもらう。<br><br>個人作業での内容を基に良いチームとは何かを議論し、今の職場に置き換えてみた時に良いチームであると思うかどうかを話し合う。<br>良いチーム（職場）にすることでWLBの実現に近づけられる。良いチーム（職場）に近づけるために何ができるか議論し、グループのみんなで職場（チーム）の中で何をするのかを決めてグループワーク終了後に宣言（発表）。 |
| | 5 | 2014年<br>5月20日 | ◉オリエンテーション<br>◉報告・連絡事項<br>◉アイスブレーキング<br>◉キャリアデザインとは？<br>◉ワーク・ライフ・バランスの実現と<br>キャリアデザインの関係<br>◉グループワーク | 連合静岡主催：男女共同参画推進担当者会議・学習会（2/8）の参加報告<br><br>自分のこれまでの人生を振り返ってみて判る事や自身の様々な立ち位置でのこれから・自分の家族の未来を見据えながら今後どう生活していくのか、どう働くのか、そのためには何が足りなくて何を学ぶべきか、何をどうしていったら良いのかなど目線を広げ、違う側面からワーク・ライフ・バランスを考えた。 |
| | 6 | 2014年<br>8月7日 | ◉オリエンテーション<br>◉基調講演<br>『資生堂における<br>女性活躍に向けた取り組み事例』<br>株式会社　資生堂<br>◉個人作業<br>（基調講演を聴いての感想）<br>◉第 11 期の活動の振り返り | 企業における女性活躍に向けた取り組み事例に触れることで、今後の各組織での取り組みの参考としてもらう。<br><br>基調講演で気付かされた点、参考になったこと、感想など<br><br>第 11 期（全6回）の委員会活動を振り返り、どんな活動を行い、それによって何を学んできたのか |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | ◉グループワーク<br>①男女参画委員会の委員を経験して…<br>活動テーマ「WLB の推進」を通して…<br>↓　↓　↓　↓　↓<br>②男女参画委員会として提案・提言すること<br>［対象：自組織／会社<br>／自組織＋会社］<br><br>◉グループワーク発表＋他グループから感想・アドバイスなど一言<br><br>◉総括<br><br>◉本日の感想／WLB 意識調査記入 | 第 11 期の委員会を振り返り、男女参画委員会の委員を経験して、また２年間の活動テーマ「WLB の推進」を通して勉強したこと、発見したこと、吸収できたこと、自分の生活において実践出来たことなどを発表し、グループ内で共有。<br>提案・提言する対象は自組織／会社／自組織＋会社のいずれかを選択。<br>まず、各自が置かれている立場や環境などを鑑み、その問題点・課題をあげ、それらを改善・解決できる提案・提言をグループ内で議論。 |

静岡地協）男女参画委員会三役メンバーと他地協）委員会役員との活動交流会

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2010年1月22日<br>愛知地協）女性対策部<br>［名古屋市公会堂］ | ※活動目的や具体的内容は↓（2回目↓滋賀との欄に掲載してあるものと同様）<br><br>＊終了後、同会場のホールにて開催された以下シンポジウムに参加。<br>『父親の育児休業シンポジウム』参加<br>経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス<br>［講師］小室淑恵　氏（㈱ワーク・ライフバランス代表取締役社長）<br>男性の育児休業取得促進を考える<br>［ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ］<br>小室淑恵　氏（㈱ワーク・ライフバランス代表取締役社長）<br>［ﾊﾟﾈﾘｽﾄ］<br>関内　靖　氏（㈱サン・クリエイティブ・パブリシティ取締役）<br>水野建爾　氏（中部電力株式会社）<br>稲垣禎和　氏（㈱INAX）：育休取得者<br>定塚由美子氏（厚生労働省職業家庭両立課長） |
| 2 | 2011年6月10日<br>滋賀地協）<br>男女共生委員会三役<br>［大津駅前滋賀ビル］ | 【活動の目的】<br>◎交流会を通して、相互の活動活性化、発展を目指す。<br>◎地協における電機連合第2次男女平等政策の推進と底上げ。<br>◎メンバーの視野拡大と地協間の良好なネットワーク形成。<br>【具体的な内容】<br>◇具体的なスケジュール<br>限られた時間の中で、より有意義な活動交流会とするため、予め活動に関する情報と質問したい事柄を文章にて交換し、当日はそれらをもとに質疑応答の形式で進める。<br>◇当日の進行形式<br>お互いの活動報告後、質疑応答形式にて意見交換を行う。<br>進行は、静岡の方で担当。 |
| 3 | 2012年6月29日<br>～30日<br>東奥羽地協）女性委員会<br>［北上和賀地区労働者<br>福祉会館1F会議室］ | |
| 4 | 2014年6月22日<br>～23日<br>愛知地協）女性対策部 | 【活動の目的】<br>◎交流会を通して、相互の活動活性化、発展を目指す。<br>◎地協における電機連合第2次男女平等政策の推進と底上げ。<br>◎メンバーの視野拡大と地協間の良好なネットワーク形成。<br>◎ものづくりの現場を見学し、見識を深める。<br>【具体的な内容】<br>◇具体的なスケジュール<br>限られた時間の中で、より有意義な活動交流会とするため、予め活動に関する情報と質問したい事柄を文章にて交換し、当日はそれらをもとに質疑応答の形式で進める。<br>◇当日の進行形式<br>お互いの活動報告後、質疑応答形式にて意見交換を行う。<br>進行は、愛知の方で担当。 |